



「碑」除幕式にメッセージを送って頂いた栗原小巻さん



2023.4.3
奈良・長谷川テル
顕彰の会事務局

☎/F0742-61-7194

- ・碑建立用土地の基礎工事完了・・・2ページ
- ・除幕式へのメッセージ集
・・・4ページ
- ・続・響きあう「ヴェルダ・マヨ」長谷川テルの歌「8ページ
- ・第2回長谷川テル研究会開かる・・・9ページ

「記念の碑」建立

長谷川テルさんの勇氣、信念、理想を伝える！

栗原小巻さんからもお祝いのメッセージ！

「長谷川テル訪問記念の碑」建立
皆々様と同じ気持ちでも嬉しく、今日の日を迎えました。この碑は、多くの人々に、長谷川テルさんの勇氣、信念、理想、を伝えるでしょう。
建立にご尽力なされた皆々様に心からの敬意をお伝えします。

日中文化交流協会副会長・理事長 栗原小巻

4月30日の除幕式を前に

全国からお祝いのメッセージ次々と

4月30日の「碑」除幕式を前に、栗原小巻さん、奈良女子大
学名誉教授・中塚明氏をはじめ、全国から熱いお祝いのメッセー
ジが次々と届いています。

「長谷川テル訪問記念の碑」の建立に浄財を寄せていただいた
皆さんが、除幕式を迎えるに当たって温かいメッセージを寄せて
頂いていること心からお礼申し上げます。当「通信」に
何回かに分けて掲載させていただきます。



右から坂口紀代美さん、宮城恭子さん、中根孝治さん、鈴木唯師さん。
基礎工事の現場で。3月15日

用地に縁石を設置する作業を行う鈴木唯師さんと
中根孝治さん。この日、基礎工事は完了し、「碑」本体
の設置を待つ体制が整いました。3月15日。





「碑」の上部の制作に打ち込む坂口紀代美さん。2月3日、アトリエにて。

テルさんが志を強くした時間と、般若寺のイメージを含める
日本初の長谷川テルさんの顕彰碑のタイトルは「山吹燃ゆる」で
す。私が、仕事を承って、テルさんのご本を読ませていただいた当
初から、持っていたイメージタイトルです。テルさんが志を強くし
た時間と、般若寺という場所のイメージの両方の意味が含まれてい
ます。
坂口紀代美



作者銘板

テルの事績を顕彰する営みを続けている人たちに

深く心を揺さぶられました

―除幕式に寄せられつつある熱いメッセージ集―

3月12日に、「長谷川テル訪問記念の碑」の除幕式への案内状を発送したところ、奈良・長谷川テル顕彰の会事務局に、次々と熱い想いを込められたメッセージが、全国から寄せられています。期せずして、除幕式を前に、「碑」の建立の意義を様々な角度から語り合う機会となりました。メッセージをよせていただいた皆さんへのお礼を兼ね、当「通信」に数回に分けて掲載します。

奈良・長谷川テルの顕彰の会 事務局

大軍拡は亡国の道

・大軍拡は亡国の道。長谷川テルと共に歴史に学び前へ!! 平和の道の前へ!!

中塚 明(京都府)

“新たな戦前”がヒタヒタと押し寄せる、この時期に、「長谷川テルの碑」が建立されたことを心からうれしく思います。再び売国奴なるコトバが大手を振って飛び交わないよう、微力ながら尽力したいと念じています。

小林将夫(京田辺市)

・長谷川テル顕彰碑の完成おめでとうございます。会の結成から6年皆さんの不屈の頑張りに頭が下がります。平和と連帯の活動が未

永く続くことを心から願っています。

田辺 七郎(東京都)

・長谷川テルのことは戦前から知っていました。ただ軍国主義少女の私にとっては、あの時代自国に向かって反戦の声をあげることは

即、死刑という時代に、勇氣ある「信念の人」という称え顕彰すべき人と思っています。

崎山ひろみ(高知市)

・奈良・長谷川テル顕彰の会結成以来の長年にわたるご努力が今回の記念碑建立に結実したことに敬意と祝意を表します。今後に続く顕彰活動の重要な一里塚です。

渡辺 武(大阪)

・奈良・長谷川テル顕彰の会の皆様のお努力に敬意を表します。

森川和徳(京都府)

・記念碑の完成おめでとうございます。ご努力に敬意を表します。いつか、般若寺に行き碑を訪ねます。

落合智恵子(四日市市)

・私が長谷川テルを知ったのは50年以上も前、エスペラントの学習を通じてでした。世界と日本の近現代史に関心を持ち始めた時期とも重なり、テルの生き方は私を大いに勇気づけました。その後、私たちの社会はテルの存在を歴史の奥深くに埋め込んでしまい、それに合わせるかのように、私の意識からもテルは遠ざかってしまいました。

最近になって、テルの事績を顕彰しようという営みを続けている人たちがいることを知り、深く心を揺さぶられました。このたび、顕彰碑完成のお知らせをいただき、私はふたたび勇気づけられました。除幕式には出席ができませんが、いずれこの地を訪れるのは私の義務だと思っております。

滝永 登(さいたま市)

・積み上げて思いがようやく記念碑という形となって、ここに立つ日を迎えることが出来、感無量です。テルの非戦の心を心から発信

したいですね。

田中澄江（奈良市）

・「長谷川テル顕彰碑」の建立によって、諸民族間の平和が確立されるように。

福寫繁男（奈良県・葛城市）

・平和を願う人々の思いが集まった素晴らしい碑。除幕式を楽しみにしています。

西田千津（京都市）

・戦争にひた走るこの国に今抗い生きて長谷川テルの鮮烈な生きざまを刻む日に深く心にとどめる。

伊藤恵美子（奈良市）

・長い旅の一里塚に到達でき胸がいっぱい、感無量です。

宮城恭子（奈良市）

・「長谷川テル訪問記念の碑」の建立を初めて提唱した団体として、

除幕式を盛大に迎えられることに、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟奈良県本部は、皆様への感謝の念に堪えません。

加藤宜之（奈良市）

・募金やメッセージを寄せてくださった皆さまに感謝の気持ちで一杯です。これからも、テルさんの「碑」を中心に、共に不戦と平和を願っていききたいと思えます。

西 久美子（葛城市）

・今こそ、テルの思想、行動力が求められる時代はないと思えます。

大類善啓（東京都）

・長谷川テルさんのことを知ってから、この日のくるのを待ちわびておりました。平和の塔（原爆の火）と10万本のコスモスに守られて安らかにお眠り下さい。

三村純子（大和郡山市）

・平和を願う人々、そして、エスペランチストが日本中、世界中

から、テルさんの記念碑につどいますように、末長く。

中西とし子（奈良市）

・「長谷川テル」の反戦の願いが令和のいま、「ウクライナ」の空に届きますように！！

竹村照雄（奈良県上牧町）

・平和か戦争かへの攻めぎ合いの情勢の中、中国本土にて85年前日本兵士に反戦・平和を訴えた長谷川テルのひとつの碑の除幕式が行われること、誇らしく思うと同時に嬉しく感じます。

平松悦雄（堺市）

・日本の軍国主義・大陸侵略に対して命がけで反対したテルの人生は日本民族の誇りです。

檜山秋彦（滋賀県近江八幡市）

・長谷川テル顕彰碑建立にご尽力の皆様方に真底より謝意を懐く次第です。私も一度是非顕彰碑と対面し、テルさんに語り掛けてみたいと思っています。有難うございます。宇賀平（高知県南国市）

・長谷川テル訪問記念の碑の完成おめでとうございます。平和友好の礎となることを願っております。

西村久留美（洲本市）

・記念碑除幕おめでとうございます。今後も、いっそう長谷川テルの業績を広く深く知らせることに微力を尽くします。

小牧薫（堺市）

・6年にもわたるご尽力のおかげで記念の碑の除幕式をお迎えになる由、おめでとうございませす。感謝申し上げます。

村田和代（横浜市）

・「長谷川テル訪問記念の碑」完成おめでとうございませす。戦中の日本で平和をめざすエスペランチストになり、中国で日本兵に反戦

を訴えた女性の碑、後々に反戦平和を伝えるでしょう。みな様の
尽力ごころうさまでした。

浅恵子（鳥取県）

・またもや「戦前？」という危惧を覚える昨今、長谷川テルさんの
碑が出来たことは大きな意義があると思います。彼女の平和を願う
心が碑を人、皆のものとなりますように。

松下哲子（名古屋市）

・当日は所用があり欠席しますが、後日「碑」を拝見に伺います。

北浦吾郎（奈良市）

・お寺を訪れる人々にテルの短くも激しい生涯を知ってもらえるこ
とがうれしいです。

辻本英子（生駒市）

・記念の碑の完成、誠におめでとうございます。碑の建立に努力さ
れた全ての方々に、心から感謝もうしあげます。

坂手日登美（大阪府東八尾市）

・平和と社会正義のための献身的な闘いの上に築かれた今の社会を
少しでも良くするために私も後につづきたい。横田利孝（奈良市）

・「長谷川テル訪問記念の碑」の完成おめでとうございます。エス

ペラント語の文も楽しみです。実現のために努力されたみなさん、

ありがとうございます。

杉下ゆき子（奈良市）

・多くの方のご協力により完成した記念の碑を見ることを楽しみに
しています。

水谷奈美（奈良市）

・たくさんの方の思いが詰まった記念碑の完成を是非いっしょにお
祝いできればと思っています。当日を楽しみにしています。

岸下あずみ（京都市）

・皆様のおかげで無事除幕式を開催できるということで、とてもす
ばらしいですね。いつも丁寧なご連絡や礼状をいただき恐縮してお
ります。

川合潔（大津市）

・”新たな戦前“ではなく、”平和の準備“のために今こそ真の日
中友好を。記念碑の建立は、”平和の準備“に大きな力となること
を確信します。

稲次直樹（生駒市）

・テル女子の心を刻む奈良・長谷川テル顕彰の会の皆様の第一歩に
感謝します。

山本恒人（大阪府吹田市）

・皆様にお会いできること、とても楽しみにしています。この運動
に参加している方々、とても素敵な人達でしょうね。

杉村征郎（静岡県藤枝市）

・「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式おめでとうございます。多く
の人がこの碑を訪れ、長谷川テルのことを、その記憶にとどめるこ
とを願ってやみません。歴史的な意義をもつ事業の達成を心より喜
んでおります。

田中輝男（奈良市）

・「新しい戦前」にならないように、テルを始め治安維持法犠牲者
の業績を広く知らせましょう。

溝川悠介（生駒市）

・おめでとうございます。みなさんの熱意がここ迄引っぱりあげ
達したのだと思います。

松浦由美子（大阪府）

・実物を見るのが、とても楽しみです。運動の中で人々のつながり
が広がり、碑はそのことの表れであると思います。

田中郁（奈良市）

以下は、「ヴェルダ・マヨ通信」の次号に掲載いたします。



テル夫妻墓前にて 2017年7月29日

一橋大学中国史のゼミの会「たつのご倶楽部」のみなさん。湯川誼さん提供
後列、左から二人目が湯川さん。

たつのご倶楽部のみなさんから

多大な募金のご協力をいただきました

昨年の暮れ12月29日に、御殿場市在住の湯川誼さんから、奈良・長谷川テル顕彰の会事務局に、「長谷川テル訪問記念の碑建立募金のお手紙受領いたしました。小生も協力させていただきます。大学の中国史ゼミの会「たつのご倶楽部」でテルの勉強会をし「望郷の星」も観賞、2017年にジャムスの墓所を訪問致しました。参加者にも声を掛け、協力をお願いします」との嬉しいメールをいただきました。湯川さんは既に一度募金を寄せて頂いている方でした。

そこで、田辺事務局長が、「ジャムスの長谷川テルと劉仁夫妻のお墓を訪れた思いを『ヴェルダ・マヨ通信』に寄稿して欲しいとお願いしたところ、上段掲載の写真と、『星火方正』第25号に掲載された野村正彦名の記事を読んで欲しい」として送られてきました。

その後、湯川誼様から、たつのご倶楽部のみなさんに、長谷川テル顕彰碑募金を訴えていただき、今年に入って幾人もの方から顕彰碑募金が寄せられています。記して、お礼とさせていただきます。

除幕式での交流がたのしみです

現在、当通信4〜6ページに掲載されているように、メッセージを添えて、除幕式に参加していただく連絡が、毎日のように事務局に届いています。湯川誼さんも、除幕式に参加するとの返事を頂いています。

続・響きあう「ヴェルダ・マーヨー長谷川テルの歌」

反戦平和に徹した長谷川テルの人生への賛歌「希望の鳩 ヴェルダ・マーヨー長谷川テルの歌」が、戦争を直接知らない少年少女の心に響いています。前「通信」でお伝えした「響きあう『ヴェルダ・マーヨー長谷川テルの歌』」は、さらなる展開・響きあいが続いています。後世に語り継がれる物語に！

ここでは、ご自身の授業で取り上げた黒田貴子先生のレポートと、この「歌」を作詞作曲されたケイ・シュガーさんの感想を紹介しします。

優しさあふれる緑で染める

—こはるさんが「ヴェルダ・マーヨ」の6番の作詞—

ヴェルダ・マーヨ通信40号、ありがとうございます。4月30日进行と、ワクワクして来ました。

生徒たちに『ヴェルダ・マーヨ』の6番を作ってみない？と呼びかけたのですが、遠慮しているのか動きが無く、「こはるさん」にお願いしてみました。そうしたら、下記のような歌詞を作ってくれました。

一人たくましく 平和を貫く
何があろうとも 血を流さない
傷つけあいの 闇の中を

優しさあふれる緑で染める

心の底から美しい声で

言葉で紡いで ヴェルダ・マーヨ

緑という言葉を入れたかったこと、いま起きている戦争のことも考えながら歌詞を作ったと聞きました。私は、いまの中学生が長谷川テルのことを知って歌い続けるというような歌詞をイメージしていたのですが、それは欲張りというものです。

こはるさんは、歌詞は、ケイ・シュガーさんに集成して頂ければ、とも言っていました。

2023年3月17日

黒田貴子

練りに練って歌詞を紡がれた

黒田先生へ

ヴェルダ・マーヨの6番目の歌詞ができたと聞いて、驚き、感動しています。

去年、黒田先生の生徒さんたちが、この歌を愛唱しておられることを知り、その光景を思い浮かべながら、6番目の歌詞をつくってくれたら素敵だなあと感じていました。同時に、言葉に乗せにくいメロディーなので、難しいかなと思っていました。

そして、最新号のヴェルダ・マーヨ通信の黒田レポートの中に、先生が担当しておられるのは週1回だと知り、貴重な授業時間、どんどん学習が進んでいく中で、6番目の歌詞だなんて軽々しくお願

いして申し訳なかったと反省。田辺さんから、通信用のメッセージに、6番目の歌詞をお願いしたことを加筆してほしいといわれたときも、とてもこのことは書けないと思いました。

ところがなんとなんと、あの、こはるさんが作ってくださいだった。歌詞と、こはるさんの意図を繰り返し読み返していただき、何度も口ずさみました。緑という言葉を入れたかったこと、そしていま起きている戦争のことも考えながら練りに練って歌詞を紡がれたのだと思います。

こはるさん（素敵な名前ですね）、ありがとうございます。歌詞作りを呼びかけてくださった黒田先生にもお礼申し上げます。5月のコンサートで、ぜひ6番目の歌詞も歌わせていただきたいと思えます。

2023年3月20日 Kei.Sugar

春になり活き活きと芽吹く草花のよう

実に素晴らしいことだともおもいました。黒田先生の授業が週一日ではあっても生徒たちの心にきちんと響いている結果ですね。揺るがぬ心情や熱意が素晴らしく、決して押し付けじゃない自由な精神を育てようと努力されておられる先生の一貫した姿、それが呼応する生徒。こはるさん。に届き豊かな時間を体現されたのだろうと思います。春になり活き活きと芽吹く草花のように。なんと素直な表現なんだろうと思いました。

田中澄江



第2回長谷川テル研究会の様。報告者の寺島俊穂会長（左端）、西田千津氏（左から2人目）と山本恒人氏（正面右）ら。奈良・顕彰の会からは、西田氏の他奥西正史氏と田辺実氏が参加。

『長谷川テル著作集』作成めざして

第2回長谷川テル研究会ひらかれる

3月21日、日中友好協会大阪府連合会事務所（大阪市）で第2

回長谷川テル研究会がひらかれました。

第2回研究会では、西田千津氏が「長谷川テル『三八偶感』を読む」と題して報告したのに続いて、研究会会長の寺島俊徳関西大学名誉教授が、「長谷川テルの著作目録」、「長谷川テルの作品群と著作集作成の意義」、「長谷川テル著作集」企画書（案）が報告・提案されました。それらは豊富な内容ですが、ここでは、そのテーマを記しておきます。

寺島俊徳氏が報告したテーマ

1 長谷川テルの著作目録

テルの著作目録を時系列的に、整理されたもの。日本語、エスペラント、中国語などの区別が分かるように整理されています。

2 長谷川テルの作品群と著作集作成の意義

- 1 長谷川テルが生きた時代
 - ① 自由の欠如
 - ② 国際的連帯の広がり
- 2 長谷川テルの作品群の分析
 - ① 執筆時期
 - ② ジャンル
 - ③ 使用言語

- 3 テルはどのように関心を持たれてきたか
- 4 著作集作成の意義

3 『長谷川テル著作集』企画書（案）

- 1 著作集の公刊の意義
- 2 全体の構成 目次、解説、文献リスト、年表、索引
- 3 協議事項等
- 4 役割分担 編集方針について（案）

以上、企画はまだ検討の段階ですが、全面的であり、この著作集が公刊されれば、長谷川テルの顕彰事業の更なる発展の土台が固まるのではないかと期待されます。

編集後記

春の便りと共に、「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式を3週間後に控え、顕彰の会事務局には連日のように、熱のこもったメッセージとともに、温かい励ましの言葉が寄せられています。その内容を皆さんと共有したい気持ちにかられます。そこで、間を詰めて当「通信」を編集・発信させていただくよう心がけています。映画「望郷の星」で長谷川テル役を演じられた栗原小巻さんから寄せられたメッセージなど全国から寄せられているメッセージ、碑完成めざす坂口紀代美氏らの作業の進展状況をお知らせします。除幕式で、皆さんとお目にかかることを楽しみにして。

奈良・長谷川テルの顕彰の会 事務局長 田辺 実